

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	大磯城山公園		
所在地	大磯町西小磯・国府本郷		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/ooisojoyama/index.html		
根拠条例	神奈川県都市公園条例		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和62年4月)		
指定管理者名	(公財)神奈川県公園協会・湘南造園(株)グループ		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はSで、3項目評価はSとなった。 事業計画に基づき、業務が実施されており、継続が望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 「湘南の風土と邸園文化の継承、おもてなし」を総合的な管理運営方針として事業を実施した。規模の小さい公園ではあるが、地域と連携しながらイベント等を開催し、公園の魅力発信を行うとともに、地域の活性化にも貢献していた。また、拡大開園後の混雑対応として、バスや団体客の円滑な誘導を行うよう積極的に取り組んでいた。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率133.2%となったためS評価となった。前年度対比では、拡大開園により、42.8%のプラスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が95.3%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 駐車場収入の増加に伴う収入の増、委託業務や人員配置の見直しによる支出の減があり、収支差額は5.85%のプラスとなったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 指定管理者に起因する事故・不祥事はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	—	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	週1回程度	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>大磯ニューツーリズムで心身ともにリフレッシュ ○大磯町と一丸となり新たな観光の核づくりに取り組み、「大磯オープンガーデン」や「もみじのライトアップ」を開催する。 ○大磯町観光協会や大磯ガイド協会と連携し、散策やウォーキングを企画する。 ○市民参加や市民の発表の機会の提供、利用者ニーズを反映した公園運営を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光の核づくりとして行われている「大磯オープンガーデン」に参加し、大磯町観光協会や大磯町商工会等と連携して「城山マルシェ」の開催などを行なった。 ・「もみじのライトアップ」を「湘南邸園文化祭」に併せて開催した。 ・大磯ガイド協会と連携し、庭園ガイドを継続して実施するとともに、ガイド協会のまち歩き企画に協力した。 ・お土産が欲しいとの声があることから、バラ園の花びらから染めたハンカチの販売を開始するとともに、ローズティの企画を進めた。 	-
<p>邸園文化を伝えるおもてなしの空間づくり ○公園の復元された魅力を向上させるため、適正な管理運営を実施する。 ○北蔵、茶室、旧吉田茂邸地区多目的ルーム等を活用したイベントを市民団体等と連携して開催する。 ○展示や講座を企画し、大磯や神奈川県自然・歴史を学ぶ機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理で美しい庭園を維持した。 ・北蔵での作品展、茶室を活用した茶会や茶道教室、盆栽展や邸園コンサートの開催を継続した。 ・日本庭園勉強会やバラに関する講座の開催を継続した。 	-
<p>旧吉田茂邸再建に向けた公園の観光拠点化 ○旧吉田茂邸地区の全面開園にあわせ、「旧吉田茂邸公開記念イベント」（旧名称：七賢堂まつり）や「おおいそ野外アート展2017」を地域と連携して開催する。 ○大磯市や大磯うつわの日など地域イベントに積極的に参加し、本公園の魅力を発信する。 ○さまざまな広報媒体を活用し、広域的な広報活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧吉田茂邸公開記念イベント」や「おおいそ野外アート展」を地域と連携して開催し、さらなる公園の活性化に繋がった。 ・地域イベントに参加し、公園の知名度向上に努めた。 ・ホームページのこまめな更新を継続し、新たな媒体への情報発信も積極的に行なうことで、新聞やWEB媒体等への掲載もH28：451件からH29：491件と増加した。 	-

<p>地域と連携した災害への備え ○消防署や隣接自治会に公園の防災・災害対応に関する情報提供を行うとともに、防災活動への協力を行う。 ○旧吉田茂邸地区の避難誘導経路を地域住民や利用者に周知する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治会、園内で活動するボランティア団体等と協働で津波避難訓練を実施した。 ・職員による緊急参集訓練を実施した。 ・備蓄食料及び飲料水を購入した。 	-
<p>旧吉田茂邸地区の景観復元を目指した維持管理 ○庭園専門家のアドバイスを受けながら、高水準な管理を実施する。 ○バラ専門家の指導のもと、バラ園及び駐車場のバラ植栽地の適正管理に努める。 ○菜園広場の果樹のイベント等での活用を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の庭園専門家による指導のもと、昭和41年当時の景観復元を目指し、高水準な管理を実施した。 ・年8回のバラ専門家による指導のもと、適正なバラ管理を実施した。 ・果樹の活用については具体的な提案、協議等は行われなかった。 	<p>果樹の活用については、一部の果樹が強剪定によって実が成らない状態になってしまったこと、具体的な検討内容についての提案、協議等が行われていないことから、今後の果樹の育成、活用計画について速やかに検討することが望まれる。</p>
<p>駐車場の管理運営【平日】 (提案では通年有料化となっていたが、当公園の使用料が高額かつ駐車場台数が少ないことから、平日有料だと収支がマイナスとなることが判明し、平日無料として、自主事業ではなく、指定管理業務で管理している)</p>	<p>平日は早期にバス予約が埋まってしまうことから、予約出来なかったバスも駐車場で乗り降り出来るように機械設備の設定変更を行い、見学中は周辺の駐車場を案内誘導するなど、円滑な運営に努めた。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>駐車場の管理運営【土日、休日のみ】</p>	<p>繁忙期には交通誘導員の配置を行うなど、円滑な運営に努めた。</p>
<p>自動販売機の設置</p>	<p>利用者へのサービス向上のため、利用者の多い施設周辺に自動販売機を設置していた。</p>
<p>茶室の管理運営</p>	<p>茶室「城山庵」には茶道の資格を持つスタッフを配置し、茶道教室等を開催しているほか、併設した休憩室で地元の和菓子とセットの抹茶を提供するなど、利用促進に努めていた。</p>

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	337,033	302,548	431,998
対前年度比		89.8%	142.8%
目標値	262,650	270,300	277,950
目標達成率	128.3%	111.9%	155.4%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： センサーによるカウント及び駐車台数、団体申込人数より推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 106 / 106 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	69	33	1	3	1	107	よく管理されている美しく、落ち着く
回答率	64.5%	30.8%	0.9%	2.8%	0.9%		
前年度の回答数	78	38	10	0	1	127	
前年度回答率	61.4%	29.9%	7.9%	—	0.8%		
回答率の対前年度比	105.0%	103.1%	11.9%	—	118.7%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の 主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	69,586	0	2,348	駐車場2,019 自販機 329	71,934	71,934	0	
	決算	69,586	0	3,096	駐車場2,543 自販機 552	72,682	70,458	2,224	103.16%
前年度	当初予算	69,586	0	2,831	駐車場2,494 自販機 337	72,417	72,417	0	
	決算	69,586	0	3,620	駐車場2,934 自販機 686	73,206	71,263	1,943	102.73%
29年度	当初予算	81,974	0	5,149	駐車場4,804 自販機 345	87,123	87,123	0	
	決算	81,974	0	7,200	駐車場6,253 自販機 947	89,174	84,247	4,927	105.85%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

29年度 / — 前年度 / — 前々年度 / —

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	0 件		
	0 件		
職員対応	0 件		
	0 件		
事業内容	0 件		
	0 件		
その他	0 件		
	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
無し	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。